

平成29年第20週 県中保健福祉事務所感染症レター

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第20週	第19週	第20週		第19週		第20週		第19週		第20週		第19週		第20週		第19週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	185	251	33	13	52	88	29	13	39	41	0	0	0	19	4	0	13	28
咽頭結膜熱	14	17	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	183	122	14	0	7	0	3	0	4	0	0	0	0	0	11	0	3	0
感染性胃腸炎	271	267	59	24	60	30	51	11	53	12	0	8	0	14	8	5	7	4
水痘	20	24	6	9	4	16	6	6	4	5	0	2	0	10	0	1	0	1
手足口病	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	9	9	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	31	31	9	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	16	13	9	8	9	1	1	1	2	0	0	0	0	0	8	7	7	1
RSウイルス感染症	8	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0		0
流行性角結膜炎	10	17	1	2	0	1	1	1	0	0		0		0		1		1

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

**県中地域の状況(その1)**  
**〈流行性耳下腺炎の患者数が増加しています〉**  
 県中地域、主に田村地区で流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の患者数が増加しています。流行性耳下腺炎は2~3週間の潜伏期を経て発症し、耳の下や顎の下の腫れ、咳、鼻水、発熱などの症状がみられるようになります。年齢が上がると重症化しやすく、重度の合併症を引き起こす可能性もあります。また、学校保健安全法により出席停止となります。  
 流行性耳下腺炎の原因となるムンプスウイルスは感染力が強く、患者の呼吸器の飛沫を吸い込んで、あるいは患者の唾液で汚染されたものと接触することで感染します。予防法として最も有効なのは、予防接種を受けて免疫を獲得しておくことです。流行性耳下腺炎の予防接種は任意ではありますが、発症を防ぐため、重症化を予防するために非常に重要となりますので、積極的な接種が推奨されます。

**県中地域の状況(その2)**  
**〈感染性胃腸炎の小流行がみられます〉**  
 県中地域で感染性胃腸炎の小流行が見られます。例年、3月から5月にかけて、乳幼児を中心にロタウイルスによる感染性胃腸炎の患者が多くみられます。ロタウイルスは感染力が強く、感染すると2~4日の潜伏期間の後、水のような下痢や嘔吐が繰り返して起こります。感染を予防するために、以下の点に注意して下さい。

**手洗いの徹底**

- 食事の前や外出後、おむつ交換時など、こまめに手洗いを行いましょう。
- 手洗いは指輪や時計をはずし、せっけんで30秒以上時間をかけて洗うようにしまししょう。

※ロタウイルスには、アルコールなどの消毒薬があまり効きません!

**次亜塩素酸による適切な処理**

- 便や吐物は次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤6%)を50倍に薄めて使用しまししょう。
- ※処理中は窓を開け、十分に換気をして下さい。
- 衣服や器具、トイレの便座やドアノブ、手すり、などは次亜塩素酸ナトリウムを250倍に薄めて使用しまししょう。
- ※金属に対して次亜塩素酸ナトリウムを使用した場合は、使用後にしっかり水拭きしてください。